

令和8年4月15日

お客様各位

神奈川県自動車車体整備協同組合

理事長 小倉 龍一

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町 3757-3

TEL：045-932-2725 / FAX：045-931-6320

自動車钣金塗装修理料金の改定に関するお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、神奈川県自動車車体整備協同組合加盟各店をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

さて、このたびは誠に恐縮ではございますが、自動車钣金塗装修理に係る料金の一部改定を実施させていただくこととなりました。その背景と趣旨について、下記の通りご説明申し上げます。何卒ご理解賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

敬具

記

1. 材料費高騰の背景 ～中東情勢の悪化とナフサ価格の急騰～

2026年2月末、米国・イスラエルとイランとの間で軍事衝突が発生し、世界の原油輸送量の約2割が通過するホルムズ海峡が事実上封鎖される事態となりました。我が国は原油輸入の約9割を中東地域に依存しており、この封鎖による影響は甚大です。

特に、プラスチック・塗料・溶剤の原料となるナフサ（粗製ガソリン）の輸入ルートが寸断され、国内でのナフサ価格が急激に高騰いたしました。これにより、自動車钣金塗装修理において不可欠な自動車補修用塗料・シンナー・各種副資材の調達コストが、著しく上昇しております。

2. 塗料・副資材の値上がり状況

自動車補修用塗料の価格は、コロナ禍以降から既に継続的な上昇傾向にございました。

関西ペイント：2021年から2025年にかけて計6回の値上げを実施

日本ペイント：2026年3月19日発注分よりシンナー類を**75%**値上げ

外資系：2026年4月1日出荷分よりシンナー全般を**60～70%**大幅値上げ

また、塗料のみならず、マスキングテープ・研磨材（ペーパー類）・パテ・プラサフ・ウエスなどの副資材についても軒並み大幅な値上がりが生じており、一部メーカーでは出荷制限も実施されております。

現在の資材コスト水準は、コロナ禍以前と比較して塗料類で約1.5倍、副資材では約2倍近い水準に達しており、業界全体として前例のない高コスト環境に置かれております。

3. これまでの企業努力とやむを得ない改定の理由

当組合加盟各工場は、上記の資材価格の高騰に直面しながらも、お客様への負担増加を最小限に留めるため、長年にわたり企業努力による吸収を続けてまいりました。しかしながら、昨今のナフサ危機に端を発した急激かつ大幅な材料費の上昇は、これ以上の内部吸収が困難な水準に達しております。

誠に遺憾ではございますが、事業の継続と品質の維持のため、修理料金の一部改定を実施せざるを得ない状況となりました。

4. 料金改定の概要

改定時期 : 令和8年(2026年)4月以降の修理受注分より順次適用

改定対象 : 塗料・材料費に係る部分を中心とした料金体系の見直し

改定幅 : 使用材料の調達価格の上昇を反映した適正な水準への改定

※ 具体的な改定内容につきましては、各加盟工場にてご説明いたします。

5. 今後のサービスへの取り組み

当組合は、神奈川県内の優良钣金塗装工場が一致団結し、「お客様に納得の仕上がりを」をモットーに技術向上と品質の維持に努めております。料金改定後も、国家資格を有する自動車車体整備士がお客様の大切なお車を責任を持って修復し、これまで同様、高品質なサービスをご提供できるよう最善を尽くしてまいります。

このたびの料金改定によりご不便・ご負担をおかけすることとなり、誠に申し訳ございません。材料費の急激な上昇という不可抗力の事情をお汲み取りいただき、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

【お問い合わせ先】

各組合加盟工場にお尋ねください。